



講座のアピールポイント

近年の母子と家族、女性を取り巻く状況は、女性の生き方の変化出生数の減少、出産年齢の高年化、不妊・出生前診断の受検の是非、産後うつ増加、DV および児童虐待の増加など様々な課題が山積しており、ハイリスク妊婦も増加しております。そのため看護専門職には、これらの母子保健の現状を把握し、的確に捉え支援する能力が求められます。

母性看護の対象は、女性の一生を通じた支援のみならず、生殖、育児のパートナーである男性、及び家族、その家族が生活している地域も含まれます。

私たちの領域では、性の健康のための支援、不妊カップルへの支援、新しく赤ちゃんを迎える家族（父親、きょうだい、祖父母）への支援や、分娩時の効果的な支援などの研究を実施しております。また、小学校や中学校、高等学校などに同い性教育などを実施しております。

講座メンバー

教授

磯山 あけみ (いそやま あけみ)

趣味：洋画鑑賞 (映画・ドラマ)

仕事とプライベートのリセットに役立っています。

教授

赤羽 由美

趣味：散歩

散歩はリフレッシュとなり、
ストレス解消にもつながっています。

准教授

水畑 喜代子

趣味：トレッキング

北関東の山々を巡っています。

准教授

西岡 啓子

趣味：公園巡り

家族に付き添っていろいろな公園に行くうちに、
自分がすっかり楽しくなりました！

講師

荒井 洋子

趣味：海外旅行

世界中を旅して異文化に触れることが大好きです。

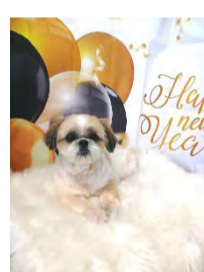
退職後は、世界一周をすることが夢です。

助教

磯 律子

趣味：自分や他人を癒すことを意識して過ごして
います。アロマテラピーやマッサージなどを生活の
中に取り入れ、ハーブをお茶や料理に入れるな
どしています。

また、休日は犬の散歩により癒されていま



す。

助教

坂入珠帆

趣味：着物

着物を着て、友達と観光名所に行き、
おいしい食べ物を食べるのが大好きです！

講座研究紹介

磯山 あけみ	新しく家族を迎える家族（母親、父親、きょうだい、祖父母）の思いや支援に関する研究や、就労女性の研究をお行っております。また、乳がん治療後の女性の授乳経験を明らかにし、授乳の意思決定を支援するためのツールの検討を開始しています。そのほか、専門職としての助産師の実践力やキャリアに関する研究を行っております。
赤羽 由美	乳がんや子宮がんなどにかかる女性は増加していますが、検診受診率はいまだ低いのが現状です。健康問題を解決するにあたって、自ら必要な知識を獲得して、必要な意志決定ができるように、そして直面している問題に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように支援に関する研究を主に行っています。今後も、地域の皆様にお役に立てるような研究を継続していきたいと思っております。
水畑 喜代子	母親および家族の健康支援に関する研究や、妊娠・出産する女性の遺伝に関する悩みへの支援の研究を行っています。遺伝医療の進展に伴い、診断ができるようになったことで関連する悩みを持つ人がいます。地域の人々や社会の支援につながるように取り組んできたいと思っております。
西岡 啓子	「不妊看護に関すること」女性の健康に関することについて主に研究を行っています。最近では、生殖補助医療を受療する女性が、外来でどのような思いを抱いているのかについて研究を行いました。 今後も、不妊治療を受療する女性やそのパートナーの皆様にお役に立てるような研究を継続していきたいと考えています。
荒井 洋子	「月経教育」性教育「出産体験」不妊体験などの研究を行ってきました。産んでも産まなくても産めなくても多様性を認め合う社会への実現に向け（壮大なテーマですが）、自分ができることを少しずつ、学生の教育や臨床、地域へ還元できたらと思っています。
磯 律子	現在、「産痛緩和法」をテーマに研究を行っています。日本では昔から助産師が主体となって、多くの「産痛緩和法」を実践してきた歴史や文化があります。しかし最近では、世界的に無痛分娩が普及してきています。そこで、産婦さん自身が、自分らしく、よりよい分娩方法を選択し、満足したお産ができることを目的として、産痛緩和の種類や方法、効果を明らかにすることに取り組んでいます。教育と研究と精一杯取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。
坂入 珠帆	「妊娠中の運動」や「性教育」について研究を行ってきました。妊娠・出産・育児だけではなく、幅広い女性のサポートができるよう、今後も研究を続け、地域の皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思っております。